

コロンビアの格上げについて

大和証券投資信託委託株式会社

格付会社フィッチ・レーティングス社(フィッチ)は6月22日(現地)、コロンビアの自国通貨建て発行体デフォルト格付けを「BBB-」から「BBB」へ、外貨建て発行体デフォルト格付けを「BB+」から投資適格級である「BBB-」へそれぞれ引き上げました。また、見通しは「安定的」としました。

フィッチは格上げの理由として、長年堅実な経済政策を行ってきたという実績と、2010年に誕生したサントス政権が国家財政への信頼および経済成長を高める改革を実施しているためとしています。

フィッチは2010年10月に、財政再建への期待から格付け見通しを「安定的」から「ポジティブ」へ引き上げており、格上げは市場である程度予想されているものでした。

なお、今回のフィッチの格上げに先立ち、格付会社スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P)は2011年3月、コロンビアの外貨建て長期発行体格付けを「BB+」から「BBB-」へ引き上げ、見通しを「安定的」としました。S&Pは格上げの理由として、コロンビア経済の外的ショックに対する耐性を挙げており、良好な中期的経済成長の見通しが公的債務負担を和らげるとしました。

格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス社(ムーディーズ)は2011年5月、外貨建て長期債務格付けを「Ba1」から「Baa3」に引き上げ、投資適格級としました。なお、自国通貨建て長期債務格付けは「Baa3」を据え置き、見通しは外貨建て・自国通貨建てともに「安定的」としました。

今回のフィッチの格上げを受けて、コロンビアはフィッチ、ムーディーズ、S&Pの3社から自国通貨建て・外貨建てともに投資適格級の格付けを得ました。

各格付会社のコロンビア長期債務格付け(6月22日現在)

	自国通貨建て	外貨建て	見通し
フィッチ	BBB	BBB-	安定的
ムーディーズ	Baa3	Baa3	安定的
S&P	BBB+	BBB-	安定的

(出所)各種データを基に大和投資信託作成

サントス政権は、就任初年度から歳入増加策に取り組み、2010年の財政収支目標を上回る実績をあげました。最近では財政安定化等に向けた法案を議会で可決しており、こうした一連の財政改革が市場でも高く評価されています。

フィッチが今後5年間のコロンビア経済の成長見通しを平均で4.2%と見込んでいるように、市場でも強い内需や豊富な資源を持つ鉱業セクターの発展を背景に、高い成長を見込んでいます。加えて、財政面では財政再建への道筋が着実に示されており、中長期的には今後もコロンビアのさらなる信用力の改善が期待されます。

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会